

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                             |     |        |          |
|----------------|-----------------------------|-----|--------|----------|
| ○事業所名          | 社会福祉法人 仲康会 運動学習支援教室 ココノバ黒石校 |     |        |          |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年1月21日                   |     | ～      | 令和7年2月5日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 25名 | (回答者数) | 22名      |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年1月21日                   |     | ～      | 令和7年2月5日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 7名  | (回答者数) | 6名       |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月11日                   |     |        |          |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること            | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                                                                               | さらに充実を図るための取組等                                                                                                     |
|---|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 広い空間で集団運動ができること                                       | 15名の来所がある場合にも、一部屋が広いため思い切り走運動ができている。部屋に段差もなくフラットである為、ボールを使用したり室内サーキット等を行う場合にも様々な展開で運動が提案できる。15名で大縄跳びや、個人の縄跳び練習も行えた事で経験値も上がり、縄跳びのレベルが上がったり、回すこともできない子にとっても習得に繋がっている。 | 天井はさほど高くない為、球技に関しては適さない内容もあることから、外の駐車スペースも広い為安全に配慮した上で外運動を展開したり、歩いて移動できる距離に運動公園がある為、公園を利用した運動や遊びの提案もこれまで以上に増やしていく。 |
| 2 | 黒石市内に限らず、近隣の市町村の小中学校から児童が多数集まっている為、年齢も地域も幅広い交流ができている。 | 地域や学校の違いについて児童同士が互いに興味を持ったり知ったり気づいたりすることで、新たな発見や自覚にも繋がり、異なるルールであっても合わせたり譲ったりできる機会となっている為、レクリエーションや療育にてグループワークや交流できる機会を設けている。                                        | 地域交流として、各市町村の公共施設や飲食店をレクリエーションの際に利用してもらい、それぞれの地域を身近に感じたり知ってもらえるような機会としていきたい。                                       |
| 3 | 法人内に放課後等デイサービスが5つあること                                 | それぞれの療育理念やプログラムなど、良い要素を共有したり、療育の質の向上に向けて意見を取り入れ反映していくことができている。                                                                                                      | 保護者や兄弟を交えた集いの場や行事等、事業所単位で行うだけでなく、系列事業所と合同で行うことで児童同士、保護者同士の交流を広げ定期的な開催に繋げてきたい。                                      |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                        | 事業所として考えている課題の要因等                                                                          | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                              |
|---|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 地域の児童クラブや児童館等、地域や事業所を利用されている児童以外の児童と関わる機会がなかったこと。                 | 土曜日営業をしていない為、地域の児童館との交流イベントの企画が難しかった。内の放課後等制サービスとの合同イベントの企画もあったが、営業日以外だったため決行が難しく断念してしまった。 | 土曜日ではなく祝日や、長期休業日に地域の児童館や他の放課後デイサービスと合同行えるイベントを企画し、児童同士が関わる機会を設けていく。               |
| 2 | 避難訓練の実施について周知されていない。                                              | 毎月発行しているお便りにて避難訓練の実施について写真を載せお知らせするとともに、連絡帳にて報告したり送迎時対面で保護者様に実施について伝えいるのだが印象が弱いまたは伝わっていない。 | 年間スケジュールを作成し、配布することで定期的に実施していることを把握していただく。実施後の評価や反省等についてもお便り等で公表することで、周知に繋げていきたい。 |
| 3 | ワンフロアで開けた室内が運動面では適しているが、完全な個室はない。（パーティションで仕切っているが、壁ではない為若干の隙間等あり） | 気持ちを切り替える際クールダウンの為に使用したり、一対一で対話が必要な際に個室の使用をしているが、他児の視線が気になったり、音や声の漏れが気になることもある。            | 児童の意見等も取り入れ、区切られた空間として成り立つように、物の配置や向き等を変え工夫を行う。                                   |